

追浜駅周辺地区グランドデザイン



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

～追風～ 追浜 いつも未来の風吹く街
「快適で安全なわくわくする ヨコスカ未来の玄関口」

令和3年3月 横須賀市

I 追浜駅周辺地区グランドデザイン策定の目的

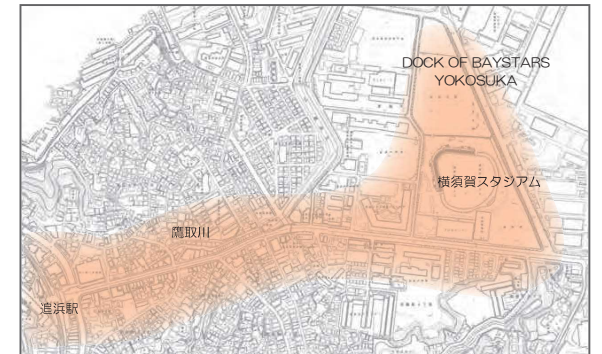
目次

- I 追浜駅周辺地区グランドデザイン策定の目的・・・・・・・・・・ 1
- II 追浜駅周辺地区グランドデザインの位置づけ・・・・・・・・・・ 1
- III 追浜駅周辺地区の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- IV 追浜駅周辺地区の整備課題図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- V 追浜駅周辺地区の目標と将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- VI 追浜駅周辺地区グランドデザイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- VII グランドデザインの推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

- 追浜駅周辺地区のまちづくりは、横須賀再興プラン（2018年度～2021年度）において市内で最重点に取り組む分野の一施策として、また都市計画マスタープランでは「多様な都市機能の集積を図る地域拠点」として位置付けられています。
- こうした中、駅前街区における市街地再開発事業や国道357号の延伸など、その他複数の事業が同時に進んでいます。
- これらの事業が完了した後、地区には従来の鉄道での都心アクセスの良さに加え、広域的なアクセス性の向上による来訪者の増加および駅前の交通結節点機能の強化による周辺住民の生活利便性の向上が見込まれ、追浜駅周辺地区を取り巻く環境が大きく変化することが想定されます。
- 将来のまちの変化への期待感が高まる一方で、一部の地域住民等の方からは、追浜地域の将来像がわからないといった不安の声も届いています。
- 本グランドデザインは、追浜の未来を示す一つの指標として、地区内で計画されている様々な事業の方向性を統一し、地域住民等の方からの大切なご意見も踏まえ、一体的なまちづくりを推進するために策定しました。
- 一体的なまちづくりを推進することで、追浜駅周辺地区にとどまらず追浜地域全体の魅力向上につなげます。



追浜駅周辺地区（現在）

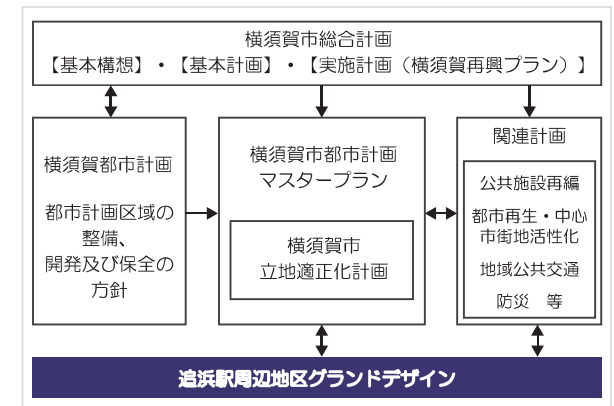


グランドデザインの策定対象エリア

II 追浜駅周辺地区グランドデザインの位置づけ

本グランドデザインは本市の総合計画に即すると共に、関連する各種計画と連携・調和を保ちながら、追浜駅周辺地区のまちづくりを推進するための基本方針となります。

また、概ね10年後の地区の姿を展望し、まちづくりの目標・イメージや取り組みの方向性などを定めます。



上位計画及び関連計画との関係

III 追浜駅周辺地区の現状

1 人口動向

- 市全体の将来人口は減少傾向にあり、令和22年には総人口が33万人近くになると予測される。
- 平成27年の国勢調査では市内唯一の人口増加地区。しかし、近年再び減少傾向に転じる。

2 土地利用・環境

- 駅周辺の商業施設の老朽化とにぎわいの低下が進みつつある。
- 「横須賀スタジアム・DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」を有する追浜公園が立地している。
- 個性豊かな個人事業者が多く所属する商店街が存在している。
- 30年以上前から続く「おっぱまつり」をはじめ、一年を通して多くのイベントが開催されている。

3 交通・道路

- 市内南北交通の脆弱性による国道16号の慢性的な渋滞・駅前交差点の高い事故率や、横浜横須賀道路朝比奈ICから追浜工業地帯へ向かう大型車両がまちなかを通行している。
- 追浜夏島線の幅員減少による交通渋滞や歩行者と自転車と混在し、通行している。
- 駅前広場が狭く、バス乗り場が分散しているため、公共交通機関同士の乗換えが不便である。
- 2018年度の京急電鉄沿線（全72駅）における乗降客数は13位、快特停車駅を除くと3位と多くの人が利用している。
- 歩行者デッキに段差がある。

4 防災

- 駅周辺の多くの建物が木造であり、建物の老朽化が進行している。
- 鷹取川の一部区間で架台による水面使用を行っており、その架台の老朽化が進行している。
- 駅から離れた所に老朽化した公共施設が点在しており、避難所が駅から離れている。

5 地域コミュニティ

- 追浜地区は39の町内会・自治会があり、それぞれが多くのイベント等をおこなっていて、「追浜連合町内会」を形成している。また「横須賀市追浜観光協会」、「追浜地区社会福祉協議会」などの地域組織がある。
- 市民が主役のまちづくりの実現を目指した地域住民による新たな組織「追浜地域運営協議会」が平成23年9月に組成。協議会では地域の特産を活かした地域活性化事業や追浜地域の防災力向上等の事業を実施。その後、令和2年7月に地域運営協議会内に「まちづくり検討会」が発足した。

6 地域懇談会でのご意見

地域住民等の皆さまと追浜駅周辺地区の課題や将来像を話し合いました。

【開催概要】

- ・日時：令和2年8月23日、24日
- ・場所：追浜コミュニティセンター北館
- ・参加者数：105名
- ・テーマ：「一緒にまちの将来像を話し合いませんか？」

※以下の主な意見は地域懇談会に出席された方々の肌で感じた率直なご意見を掲載しております。



地域懇談会の様子①
(ワークショップ)

地域懇談会の様子②
(チームごとの発表)

【建物、商店街、再開発関連】

<p>大人数で集まれる飲食店がない</p> <p>ファミリーレストラン等が多い</p>	<p>駅の近くに公共施設がない(公共施設の集約)</p> <p>駅前の再開発に</p>	<p>地元の人間が働き続ける場所</p> <p>再開発にオフィスなどを開設</p>
<p>商店街の空き店舗が増えてバランスが悪い</p> <p>にぎわいのある商店街</p>	<p>大型商業施設が少ない</p> <p>スーパー、ホームセンターを増やす。それに伴って駐車場がほしい</p>	<p>世代を超えて楽しめる施設がない</p> <p>大型店や個店を混ぜた店(かたよらない)</p>
<p>追浜の文化、歴史資源が活かされていない</p> <p>新たなものを造るだけでなく、今あるものに注目し、外に発信していく取り組みをしてほしい</p>	<p>日用品が買い物できるお店が少ない</p> <p>クックパッドマートや肉屋、八百屋等の生活の利便性向上が図れる店がほしい</p>	

【道路関連】

<p>自転車危険</p> <p>自転車通行帯(歩行者通路と自転車通路を分け)と駐輪場の整備</p>	<p>交通問題</p> <p>通過交通と生活交通歩行者と自転車それぞれが安全に通行できるようにしてほしい</p>
<p>交通渋滞</p> <p>交差点の整備</p>	<p>歩道が狭い</p> <p>自転車専用道整備 バス停・タクシー乗り場を駅前に行けるようにしてほしい</p>
<p>駅からのアクセスが悪い</p> <p>アーケードを改修し、アーケードの上を歩けるようにしてほしい</p>	<p>道路が狭い(歩道、自転車道路)</p> <p>追浜夏島整備だけでなく、湘南鷹取、雷神社付近、船越の交通量を考慮した道路整備としてほしい</p>
<p>路上駐車がが多い</p> <p>駐車場を増設してほしい</p>	

【鷹取川関連】

<p>川が汚れ、汚い</p> <p>部分的に暗渠にし、綺麗な川に屋台船などの利用を考える</p>	<p>危険でない川</p> <p>安全性が確保できる整備を行い、できれば歴史と自然を生かす</p>
<p>鷹取川を何とかしたい</p> <p>桜並木やヴェルニー公園のデッキのような親水性のある広場にしたい</p>	<p>鷹取川が有効に活用されていない</p> <p>沿道に合わせたまちづくり川の魅力を活かす 緑豊かな散策道がほしい</p>

【公園関連】

<p>子供、家族と一緒に遊べる施設が少ない</p> <p>大きな公園が欲しい</p>
<p>自然は身近にあるのに公園がない</p> <p>自然を活かした1日ゆっくりできる公園がほしい</p>

【その他】

<p>住環境を守る</p> <p>防災面の強化をしてほしい</p>	<p>快速特急が停まらない</p> <p>快速特急をとめてほしい</p>	<p>防災関係のサインがない</p> <p>避難地域の案内板を設ける</p>
<p>ブランドイメージがない</p> <p>他にない魅力を発信する(自然等の資源)新たな施設の省エネルギーなど</p>	<p>子育て世代施設が少ない</p> <p>育児施設、交流コミュニティ施設、児童館がほしい</p>	

※線の上部に「課題」、下部に「意見」を記載

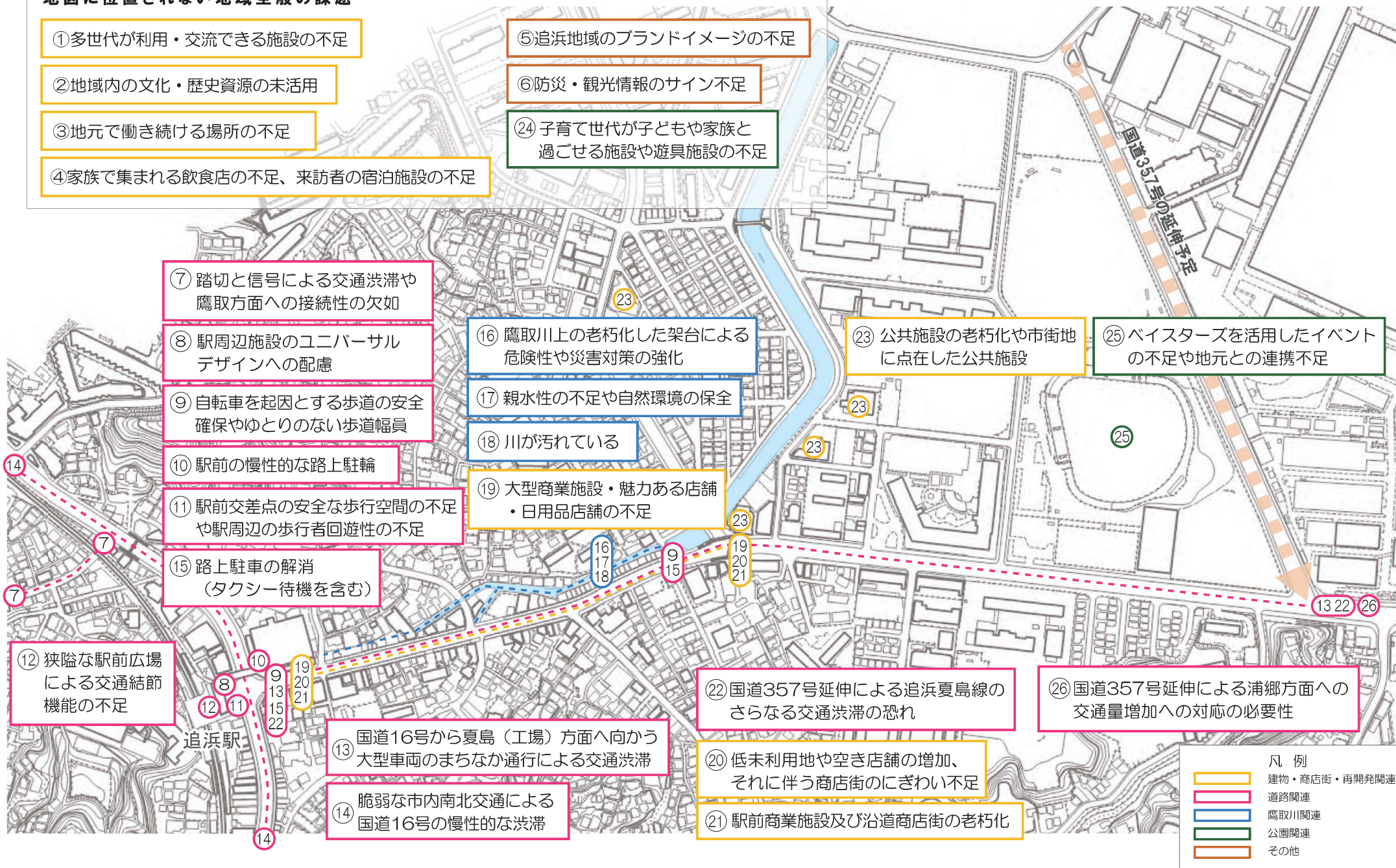
IV 追浜駅周辺地区の整備課題図

追浜地域運営協議会や地域懇談会等からあげられた課題整理

地図に位置されない地域全般の課題

- ①多世代が利用・交流できる施設の不足
- ②地域内の文化・歴史資源の未活用
- ③地元で働き続ける場所の不足
- ④家族で集まれる飲食店の不足、来訪者の宿泊施設の不足

- ⑤追浜地域のブランドイメージの不足
- ⑥防災・観光情報のサイン不足
- ④子育て世代が子どもや家族と過ごせる施設や遊具施設の不足



⑦ 踏切と信号による交通渋滞や鷹取方面への接続性の欠如

⑧ 駅周辺施設のユニバーサルデザインへの配慮

⑨ 自転車を起因とする歩道の安全確保やゆとりのない歩道幅員

⑭ 狭い駅前広場による交通結節機能の不足

⑩ 駅前の慢性的な路上駐輪

⑪ 駅前交差点の安全な歩行空間の不足や駅周辺の歩行者回遊性の不足

⑮ 路上駐車（タクシー待機を含む）

⑬ 国道16号から夏島（工場）方面へ向かう大型車両のまちなか通行による交通渋滞

⑯ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑰ 親水性の不足や自然環境の保全

⑱ 川が汚れている

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑰ 親水性の不足や自然環境の保全

⑱ 川が汚れている

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑲ 大型商業施設・魅力ある店舗・日用品店舗の不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑮ ベイスターズを活用したイベントの不足や地元との連携不足

⑳ 国道357号延伸による追浜夏島線のさらなる交通渋滞の恐れ

㉑ 低未利用地や空き店舗の増加、それに伴う商店街のにぎわい不足

㉒ 駅前商業施設及び沿道商店街の老朽化

㉒ 国道357号延伸による浦郷方面への交通量増加への対応の必要性

凡例

（黄色）	建物・商店街・再開発関連
（ピンク）	道路関連
（青）	鷹取川関連
（緑）	公園関連
（オレンジ）	その他

V 追浜駅周辺地区の目標と将来像

1 追浜駅周辺におけるまちづくりの目標

キャッチフレーズ

～追風～ 追浜 いつも未来の風吹く街
「快適で安全なわくわくする ヨコスカ未来の玄関口」

まちづくりの目標

個性と魅力にあふれ、
誰もが楽しめるまちづくり

スポーツを核とした
まちづくり

安全安心で利便性が良く、
住み心地の良いまちづくり

2 追浜駅周辺地区の目指すべき将来像・取組み方針

まちづくりの目標を実現するため、将来像を描くにあたって、【ゾーン】と【軸】の設定により、各エリアの機能を明確にしていきます。

【ゾーン】

駅前にごわいゾーン

駅前での市街地再開発事業により、にぎわいの創出や周辺住民の生活利便性の向上に資する商業機能や居住機能等の集積による駅前の拠点形成を目指します。また、交通結節ゾーンと連携し、人にやさしく、利用しやすい駅前の交通環境の改善を図ります。

- 駅周辺における生活利便拠点の形成
- 誰もが楽しめる個性ある駅前の顔づくり
- 路上駐輪・駐車対策強化（ルールづくり）
- 駅周辺の老朽化建物の建替え促進
- 駅前広場と繋がるユニバーサルデザインに配慮した安全安心な経路の確保（緊急時を含む）

地域交流ゾーン

追浜駅周辺地区における老朽化や市街地に点在した公共施設の再編の動きに合わせて、既存の公共施設が有する地域交流の機能強化を図ります。

- 市街地再開発事業と連動した公共施設の再編
- 駅前への公共施設の再編に伴う市民生活サービスの向上

スポーツ交流ゾーン

追浜公園（横須賀スタジアム・DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA）を拠点に、駅周辺や商店街と連携したスポーツを核としたまちづくりを推進します。

- 横浜 DeNA ベイスターズや追浜公園の運動施設等と連携した地域の新たな核となる魅力の創出（イベントの実施、駅周辺施設や商店街との連携）

交通結節ゾーン

駅前広場の拡張等による駅前の交通結節機能の強化により、路上駐車の解消や公共交通同士のスムーズな乗り換えの実現などを図ります。また駅機能として、商業施設や公共施設の配置を進めます。

- 追浜駅前バスターミナルの改良による交通結節機能の強化
- 駅前広場と繋がるユニバーサルデザインに配慮した安全安心な経路の確保（緊急時を含む）

地域魅力創出ゾーン

鷹取川の整備や道路整備を契機とした商店街のにぎわい再生により、生活利便性の向上や来訪者に対する魅力創出を図ります。既存公園等の利活用の促進により、高齢者や子育て世代にとって住み心地のよいまちづくりを実現していきます。

- 商店街の再生・にぎわい新たな魅力の創出
- 追浜公園等の利活用の促進

にぎわい拠点形成ゾーン

沿道の低未利用地等や公共施設再編に伴い生まれる跡地等を活用して、市街地や商店街のにぎわい創出に貢献できるような検討していきます。

- 商店街の再生・にぎわい新たな魅力の創出
- 低未利用地や空き家等の利活用検討

防災機能ゾーン

追浜駅や駅前拠点、追浜公園等では来訪者や通勤通学者のため、広域連携軸と連携した災害時の拠点形成を図ります。

- 災害時の一時避難場所や災害情報が入手できる拠点形成

駅西方面アクセス向上ゾーン

駅西方面とのアクセス性向上を図る検討をしていきます。

- 駅周辺から駅西方面とのアクセス向上方策の検討
- 駅前広場と繋がるユニバーサルデザインに配慮した安全安心な経路の確保（緊急時を含む）

【軸】

広域連携軸

横浜方面との広域アクセスの確保及び道路拡幅による追浜以南とのアクセス性強化を図るとともに、次世代モビリティの活用・導入を推進します。

- 国道 16 号の交通流改善に向けた交差点の改良
- 国道 357 号からの交通量増加に対応した追浜夏島線の整備や広域連携軸内への交通誘導

水辺防災対策軸

鷹取川の水面使用を解消（老朽化した構造物等の撤去）することで、より水害に強い安全な市街地を目指します。

- 鷹取川の水面使用の解消（老朽化した架台等の撤去）

水辺の歩行者周遊軸

鷹取川の整備に伴い、親水性のある、新たなまちなかの周遊軸を創出します。

- 鷹取川の改修による水と緑のネットワーク形成

人にやさしい歩行空間形成軸

まちなかを周遊する歩行者の安全性・快適性の向上、地区内の周遊性の強化を図ります。（ウォーカブルなまちづくりの形成）

- 安全安心で歩きたくなる・歩きやすい歩行空間の形成

地域資源活用連携軸

追浜駅周辺に存在する文化・歴史等の資源や周辺地域へのアクセス性向上を図ります。来訪者に対して、積極的な情報発信による連携を図ります。

- 周辺の文化・歴史等の資源や周辺地域へのアクセス性向上・積極的な情報発信

凡例〈主な取り組み方針分類〉

- 建物・商店街・再開発関連
- 道路関連
- 鷹取川関連
- 公園関連
- その他

VI 追浜駅周辺地区グランドデザイン

キャッチフレーズ

～追風～ 追浜 いつも未来の風吹く街
 「快適で安全なわくわくする ヨコスカ未来の玄関口」

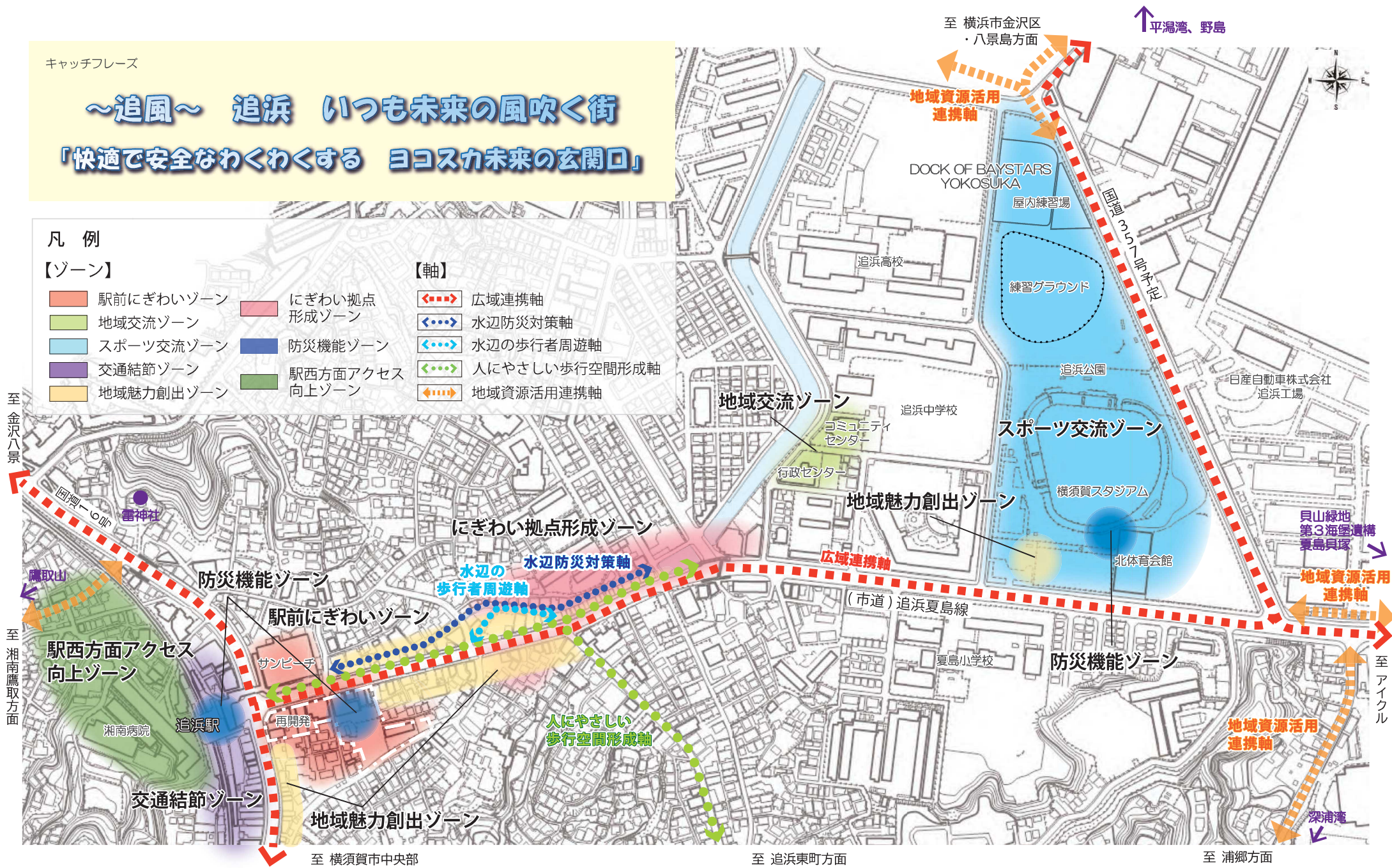
凡例

【ゾーン】

- 駅前にぎわいゾーン
- 地域交流ゾーン
- スポーツ交流ゾーン
- 交通結節ゾーン
- 地域魅力創出ゾーン
- にぎわい拠点形成ゾーン
- 防災機能ゾーン
- 駅西方面アクセス向上ゾーン

【軸】

- 広域連携軸
- 水辺防災対策軸
- 水辺の歩行者周遊軸
- 人にやさしい歩行空間形成軸
- 地域資源活用連携軸



Ⅶ グランドデザインの推進体制

- 追浜駅周辺地区のグランドデザインを推進するには、各分野の連携は必要不可欠であり、すべての施策を総動員してまちづくりに臨まなければ、未来を見据えたまちづくりを実現することができません。
- そのため、行政機関のみならず、民間や地域にかかわる様々なプレイヤーが連携する仕掛けとして、駅周辺の整備後の管理運営などの将来的なエリアマネジメントを見据えたプラットフォーム（連携体制）を構築し、グランドデザインを積極的に推進します。
- 具体的な連携体制として、例えば「まちづくりファンド※1」や「えき・まち・みちデザインセンター※2」などが考えられます。
- 市内部の推進体制としては、経営企画部まちづくり政策担当を中心に追浜行政センターを始めとする関係部局と連携し、必要に応じて関係部課長会議などを開催して推進していきます。
- また、令和3年2月に、さまざまな部局の若手職員で構成する「まちづくり研究チーム」を新たに設置し、その中でも推進する方策なども研究を進め、グランドデザインの実現に活かしていく予定です。

※1 まちづくりファンド

地方公共団体と地元事業者の出資により、当該地域の課題解決に資する、リノベーション等の民間まちづくり事業を連鎖的に進めるため、当該事業に対して出資・融資による支援を行うほか、「連鎖型事業※3」の調整主体を担う組織

※2 えき・まち・みちデザインセンター

行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、交通拠点整備に係る地域の各主体が連携し、モビリティ・都市デザインの専門家が客観的立場から携わる新たな形の組織・拠点

※3 連鎖型事業

沿道の地権者の所有地に拡幅計画がかかった場合、対話の結果により地域内の保留地を活用し、継続して地域内で営業を行うことのできる新しい手法

お問い合わせ先

横須賀市 経営企画部 まちづくり政策課 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 本館1号館4階
TEL：046-822-9952 FAX：046-822-9285